



ニュースレター

2016年12月号



今年も残すところあと1ヶ月！！

近頃は風が随分と冷たくなり、気がつけばもう12月ですね。

今年の初雪はもう経験されましたか？雪を見るとつい、「犬は喜び庭駆け回り、猫はこたつで丸くなる」というフレーズを口ずさみたくありませんか？♪クリスマスや忘年会など、12月は慌ただしい時期ではありますが、ワンちゃんやネコちゃんたちと素敵な年末をお過ごし下さい。



乾燥する季節は耳のケアもお忘れなく！

まずは、症状のチェック

【耳の状態】

- 耳が腫れている
- 熱を持っている
- 臭いがする
- ベトベトしている
- 耳垢が出ている

【仕草】

- 耳をかいている
- 頭をふっている

✓ があったワンちゃんやネコちゃんはこんな病気が考えられます。年齢に関係なく気を付けないといけな病気として、外耳炎などがあります。この機会に、代表的な耳の病気の症状を含め紹介したいと思います。



■ 外耳炎…外耳炎とは、耳の穴の入口から内側にある鼓膜のところまでの外耳道の炎症です。原因は細菌やかび類の感染、ダニ、耳垢（みみあか）の蓄積、耳の穴の中の絡み合った毛、耳に入った水、身体のどこかからの感染などが挙げられます。

ワンちゃん（特に垂れ下がっている耳）の耳は湿っぽくて温かく、脂や耳垢を含んでいるので細菌やかびの発育に理想的な所となります。そして、耳の穴はじょうごの様な形をしているので耳垢がたまり易く、感染したときに治療が難しくなります。

■ 皮膚炎…耳は皮膚に寄生する蚊やハエなどの寄生虫が咬むことで刺激されます。寄生虫が咬んで起こす皮膚炎は、まず耳たぶを侵し、鼻や眼へ拡がります。多数の寄生虫が咬むと、皮膚が赤くなったり、血液や血清が皮膚から滲み出します。液が乾き集まって皮膚の上で、汚いかさぶたを作ります。

ついにはそのかさぶたは痒くなり、犬が掻くことで皮膚のダメージはよりひどくなり、細菌の感染を起こすこともあります。

■ 耳血腫…耳血腫とは、耳たぶの軟骨部と皮膚の間に血液が溜まって腫れることです。

これは、元気よく繰り返し頭を振って軟骨部を傷つけることや、後ろ足で耳を掻くことなどから起こります。ときどき、頭を振っている時に鋭い物体で耳を突き刺すことから起こります。

また、ペットが頭を振るようになる一番の原因は耳の感染や耳ダニや蚤の寄生している事が原因ですので、気を付ける必要があります。

■ 内耳炎…中耳炎はふつう外耳道の感染が中耳までひろがることで起こります。異物や汚物が耳に入ったり、潰瘍ができたり、正しくない掃除で鼓膜を破ることなどで中耳に細菌を到達させてしまいます。中耳感染の特徴は臭い、膿が出てきた、耳を掻く、頭を振ったり傾けるなどです。ペットが不快そうにすることもあります。

悪化すると場合によっては長期（4～6週間）にわたる治療が必要になる場合があります。

**耳の中は、表面が見えにくく、気が付くと
汚れが溜まっているなどあります。
日常的なケアでキレイにしましょう**



学べる ワンニャン語クイズ

問題1：ワンちゃんがお尻を向けて座ってきます。どんな気持ちでしょう？

- ① 顔さわられたくな〜い。 (答えは下です。)
- ② この人なら安心だから後ろ向いても平気〜。
- ③ お尻かいて〜。

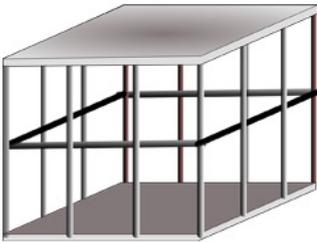
問題2：ネコちゃんがしっぽを体に巻きつけています。どんな気持ちでしょう？

- ① 暇だなあ〜。 (答えは下です。)
- ② 今日のしっぽの調子はどうかなあ〜。
- ③ 警戒しなきゃ！

檻に閉じ込められた犬

2016年10月上旬、リスカという名のメスの犬をポーランドの動物愛護団体『OTOZ Animals』が救出しました。リスカは長年に渡り、飼い主に狭く汚い檻の中に閉じ込められ、彼女の背中是不自然に曲がってしまっています。保護された後、リスカは団体のスタッフに体をマッサージしてもらい、固くなった筋肉をほぐすことで、徐々に背中を曲げたままでも自由に歩けるようになっていったといいます。そして同時に、人間に対する恐怖も克服していったことでしょう。しかし、今回の事件は私たちにペットの飼い主としての在り方や責任を再確認させるには十分すぎる出来事でした。動物を飼っている全ての人々が自らを振り返る必要があります。

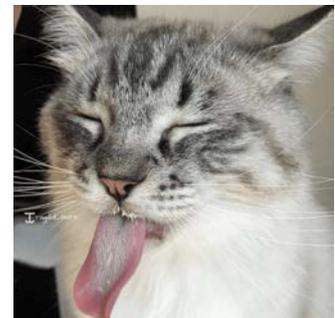
これからのリスカが沢山の愛情に囲まれますように。



びっくりする舌が長い猫

ドイツに住むラグドールのトーリン君がソーシャルネットワークで話題を呼んでいます。それは彼の舌が驚く程長いからです。

彼のインスタグラムにはエサをぺろりと食べているところや毛づくろいをしているところが掲載されており、その姿が可愛すぎると世界中からコメントが殺到しています。彼がもし言葉を話せるならば、ぜひ得したこと損したことをインタビューしてみたいものです。



出典：[instagram.com](https://www.instagram.com)

答え 問題1 ②お尻を向けられていても、決して嫌われている訳ではありませんよ。犬の無防備な後ろ姿は相手を信頼している証拠なのです。マッサージして愛情をたっぷり伝えてあげましょう。
問題2 ③ネコちゃんがしっぽを巻きつけているときは警戒中なのです。大切なしっぽを汚したくないと思っています。寒い日には、防寒具替わりにしているネコちゃんもいますよ。

迷い犬からアイドルになった犬

このキュートすぎるワンちゃんの名前はポパイ君。ロサンゼルスに住むアイドル犬です。しかし、彼は元々迷い犬だったそうです。現在の飼い主さんであるアイビーさんと偶然出会い、アイビーさんの友人の勧めでインスタグラムのアカウントを開設したところ瞬く間に人気を集めてしまいました。

ポパイ君の写真は主に、”今日ごはん”です。この”待て”をしている姿がなんとも言えない愛くるしさですよ。ポパイ君にとってもアイビーさんにとっても、最高の出会いだったことでしょう。



出典：[instagram.com](https://www.instagram.com)

1分間で20種類の芸ができる猫をギネスが認定

1分間に20種類の芸ができる猫・・・皆さんは想像できますか。

これをやってのけ、見事ギネス記録に認定されたのが、オーストラリア・ニューサウスウェールズ州在住のメスの猫・ディジャちゃんです。次々に繰り出される芸の内容は、お手やおすわりから始まり、飼い主のロバートさんの指示に従って左右にステップを踏んだり、最後はスケボーに乗ってジャンプしたりなどなど。ワンちゃんもびっくりの芸達者ぶりです。動画投稿サイトYouTubeにもその様子がアップされていますので、気になった方はぜひチェックしてみてください。



出典：ギネスワールドレコーズ

本の広場

ひなたのねこ 山田 稔明著



最近では数えられないほど出版されている人気ジャンル、ネコのフォトブック。しかしこの一冊はひと味違います。著者は『猫と五つ目の季節』を執筆し、音楽家でもある山田稔明氏。小説の主人公でもある愛猫・三毛猫ポチと著者自信の日々を描いた写真絵本になっています。前作を読まれた方はもちろん、初めて手に取られる方もページを捲るたびに癒され、幸せな気持ちになれるでしょう。

なんとも言えない可愛くも自然体なポチの写真と著者が綴る穏やかで暖かい文章が日常の疲れを忘れさせてくれます。猫ちゃんを飼われている方は共感する場面も多く、飼われていない方も猫ちゃんとの生活を想像できると思います。思わず「ねえ、ポチや」と言ってしまうくなりますよ。

漢字が全く使われていないので、小さなお子様にもおすすめします。

“何も考えず読めて、沢山のことを感じられる”

日常では感じにくい、本当に大切なことに出会えた気がする、そんな特別な読書の時間はいかがですか？